

委員長 休憩を解いて再開します。 (13時35分)

総括なんです、その前に、今までのところでどうしても聞いておきたいこと、あるいは聞き忘れたことがありましたら、質問のある委員は挙手をお願いいたします。

中津川委員 先ほどちょっと聞き忘れたところが1点あります。71ページ、総務管理費の財産管理費の中で、旧寄中学校管理費、委託料の中に一番下にね、外壁アスベスト調査委託料と10万円ほどなんですけどもあるんですが、ちょっとアスベストとあるんで、ちょっと気になったんですけども、この調査の目的と、その結果を、ちょっとお知らせいただきたいと思います。

参事兼総務課長 外壁アスベスト調査ですが、まずはこれは創生拠点の工事請負費の校舎改修工事、改修工事をするに当たりまして、外壁を塗装するのに、その中にアスベストがあるかという調査をさせていただいているんですが、実際的に調査をしたところアスベストはあるんですが、庁舎を、例えば削ったりとかすればアスベストが飛んで、それは対策をしなければいけないんですが、あくまでも外壁を塗装するだけであれば、アスベストが含まれていても問題はないという形での判定が出ましたので、そういう形での調査をさせていただいたところでございます。以上です。

中津川委員 外壁、今回、塗装だけで足場をかけたりしているんですけども、若干、全く塗装するのに足場をかけたり、直接的に外壁に接するところもあると思うんですけども、外壁、要は、躯体の中にアスベストが含有しているということで、表面とかの含有量みたいなものって調査してるんですか。

参事兼総務課長 こちらのほうのアスベストのほうの調査につきましては、先ほどお話ししましたとおり、外壁の調査という形ではやっておるんですが、躯体よりも、要は外面ってあれですけど、外の部分ですよね。外壁の直の部分にあるんですが、ただ、それを削らなければ問題はないということで、今おっしゃられた足場についても、要は、うまく削らないような形での足場設置で対応しているところでございます。以上です。

中津川委員 表面にはアスベストの含有は認められなかったということで解釈してよろし

いでしょうか。

参事兼総務課長 はい。

中津川委員 はい、分かりました。ありがとうございます。

委員長 それでは、ほかは、よろしいですね。

(「はい」の声あり)

委員長 それでは、6番目ということで、款別は終了しましたので、一般会計歳入歳出決算事項別明細書以外の部分、8から18ページ、財産に関する調書、決算に係る主要な施策の成果及び実績報告書、決算資料と総括事項、全部について審査をします。御質問のある委員は挙手をお願いします。

北村委員 18ページ、実質収支額3億9,539万8,000円の部分なんですけれども、民間だったら大幅な黒字で特段問題ないかなと思うんですが、ここ最近、ある、令和4年とか5年とかを大体見ると、標準財政規模に比べると実質収支額が10%以上、ちょっと上乘せになっているなというようなところがありまして、見方によると、もっと住民サービスを行えたんじゃないのという見方もあるとは思いますが。

いろいろな不用額とかというようなところも合わせてこの数字になったと思うんですけども、これ、あれですかね、一番数字として、何ていうか大きくぶれたというのは、ふるさと納税の額が上がっていると考えてよろしいでしょうか。

財政係長 今回の議員の実質収支の話について回答させていただきます。一応、その実質収支のほうが、確かに令和6年度についても3億9,000万というところで大きな金額が出てます。ふるさと納税の伸びというところも、もちろん多いんですけども、基本的には歳入であれば予算額よりも、その歳入額が上回って入ってきたようなもの、例えば令和6年度で言いますと町税が予算額に対して8,000万ほどプラスで来たりとか、あとは株式等譲渡割交付金とか、税の関係で交付されるようなものも予算を上回って入ってきたという部分がありますので、そういう歳入が予算を上回って入ってきたというところの要因と、歳出のほうは不用額、不用額も事業が例えば執行できなくて不用額になってしまったという

のもあるんですけども、事業は計画どおりいったけど、執行する中で効率的に執行することで、結果的にお金がかからなかったというようなものもありますので、一応、そういったところの努力の積み重ねというか、そういうところで今回のこの額の実質収支が出ているというような状況になります。以上です。

北 村 委 員     ちょっとページ飛ぶというか、462ページのほうに総括が、文書のほうがありましたけれども、義務的経費が44.7%、多分、このぐらいの町の規模で全国平均だと45～55というのが大体の基準だとは思んですけど、かなり抑えられていて、その中でも人件費、人件費が結構、今、19.8%と記載されていましたが、全国平均だと大体20～25%ぐらいのところと言うと、監査の方も書かれていましたけど、いろんなところの国の給付金で疲弊しているんじゃないかみたいなのところもね、もちろんあったと思うんですけども、その辺の抑えられ過ぎているというような無理なところは全体としてないのかなというのを、ちょっと心配しているんですけども、いかがでしょうか。

（「疲弊しているという言い方は…」の声あり）

参事兼総務課長     すみません、人件費という形でございます。その疲弊している云々というのはあれなんですけど、うちのほうは御存じのように、給与改定というのが8月、毎年あります国の人事院勧告に基づいて給与改定をさせていただいているような形ではございます。もちろん、給与表につきましては、各町村ばらつきはございますが、基本的な範囲としましては、国のほうの人事院勧告に基づいた改定率で、うちの町は、いつも改定をさせていただいておりますので、現在におきましては疲弊しているという、みんな疲れているのは疲れているんですけど、大まかに対応できていると思っております。以上です。

北 村 委 員     疲弊しているという言い方をしちゃって申し訳ないんですけど、例えばなんですけどね、正職員が少なく、会計年度職員のほうで回しているよとかという話になると、負担が行ってしまったりというところが極端にあったりすると、ことがあるとは思んですけど、そういうことは大丈夫ですかというようなお話で。

参事兼総務課長     ごめんなさい。今現在、役場のほうの定員というのは、条例上、119名とい

うような形で位置づけられております。今現在、職員数が112という形なんです  
すが、それ以外で定年退職されまして、その後、再任用職員という形で役場を  
退職された諸先輩方が、今、職員として採用させていただいています。こちら  
の先輩方の方たちは、一応、定数には入らないんですが、その方たちをうまく  
配置しながら、あと、足りないところを会計年度任用職員で。また、今後、公  
務員の定年延長、65歳になりますので、そういう方たちもうまく配置をしなが  
ら、でも、それでも職員が減っていつちゃうんで、新採用職員も定期的に計画  
的に対応していかなければいけないので、そこら辺はうまくバランスを取りな  
がら、職員全体を見て足りないところがないような形で対応できればと思っ  
ております。以上です。

北 村 委 員 ありがとうございます。かなり数字的に、データのどのようか、財政的に見  
ると義務的経費44.7%だったりとか、実質収支額が10%以上出ているというの  
は、多分皆様方の、本当、努力のおかげだと思って。それが健全な財政につな  
がって、大きな事業もできるんだろうなというようなところは、本当に日々の  
努力、ありがとうございます。今後とも、引き続きよろしく願いいたします。  
以上です。

委 員 長 ほかに、御質問のある委員はいますか。

それでは、議長、お願いします。

議 長 皆様、お疲れさまでした。皆様、いろいろとね、細かいところまで注意しな  
がら審査をしていただいて、この決算も充実したかと思えます。

私がちょっと気になっているところを少し聞かせていただきますと、まず、  
121ページ辺りなんですけれども出産関係がね、かなり、このまちは充実して  
いるというふうに考えておりますけれども、出産サポートタクシーであるとか、  
産後ケアであるとか、あと、その後のページなんかにも、がん検診…、がん検  
診じゃないな、何か、あれ、その前か。不育症とかね、そういうのも検査費用  
が出たりとかあります。非常に充実している中で、やはり、この町には出産す  
る場所がないという一つの悩みがありますけれども、そうしたところに応える、  
こういう施策を打っているというところなんです、念のためお聞きしようか

と思ったんですが、このタクシー、出産サポートタクシーで、どちらのほうの病院に行かれる方が多いのかというのが、もし分かりましたら。

あと、産後ケア応援助成金というところで、これもやはり、町にある施設があるとは思えないんですが、どちらの施設をお使いになられるのか。あるいは、もしかしたらお勧めをされているのかとか、何か、その辺りを教えていただけるかなと思います。

あともう一つは127ページなんですけど、これも一番下、再生可能エネルギーのところですので、中津川議員がスマートハウスのこと、EVのこともちょっと聞いてくださっていて、それに補足するような形になりますけれども、前、ちょっと町民から一つ聞かれたもので、窓口に聞きに行ったことがあったんですが、EVに関しては終わるとかいうふうに、ちょっと聞いたかなって。これで終了だというふうに聞いたかなと思ったんですが、その辺りの経緯。

あと、国のほうの動向に応じてというようなことを、ちょっと聞いたような気がするんですが、町はどうするのという、その今後の姿勢ですね。やはり、再エネに関しては、町はかなり積極的に取り組んできた経緯がありますので、その辺りはどうしていかれるのかというのを聞かせてください。

あとは、スポーツツーリズムも、先ほどどなたか質問して下さっていたんですが、やはり、ちょっと付け足すならば、委託先がサッカーだということもあって、やはりね、そのスポーツの多様性ということを、さっき、中津川議員でしたかね、おっしゃって下さっていましたが、209ページ辺りですかね、登山とか自転車とかトレイルランとか、松田の地の利を生かしているようなスポーツ、もともと多少は来ていただろうなというスポーツに関しては、どのような取組を考えておられるのか。その辺を、どういうふうに、このスポーツツーリズムに組み込んでいくのかというところがあれば教えてください。

あと、予算の段階で、たしかアーバンスポーツというのがちょっと入ってたんですが、これはどこへ行っちゃったのかを、ちょっと教えてください。

それと全般的なこと、財調、436ページを見ると13億少し、この令和6年度の終わりになるというような数字が出ていて、前、中野議員とかでしたかね、

たくさんたまっていてどうするんだ、みたいなことを一回聞いていたような気がするんですけども、何か、そういう、こうしていくんだとか、何かそういう方針があるのならお聞かせ願いたいのと、一方で、町債の表を見ていると、やはり利率が、かつてはかなり2%とか結構大きかったのが、がんと下がって0点幾つってなって。そうしたら、また、このところでちょっとずつ利率が上がっているというのもあって、この辺りも今後ね、前は町債、どうせ低いから、みたいな、利率が低いから、みたいなのがあったんだけど、これからいろいろな事業をやるに当たって、どうされていくのかという、何かお考えがあれば聞かせてください。

それから、あと、474ページで、ちょっと本会議場で聞いたときに、ちょっと聞き漏らしたというか、あれと思ったのが、増の要因で三つぐらい、何か挙げてくださっていて、474ページか。地方交付税の増えた要因が、地域振興費と人口減少等特別対策事業費と臨時経済対策費が主な増の要因ですと言われたようなおぼえがあるんですが、そのこのところ、違ってたら、また教えてください。これは、国の方針として、そこは増えたのか、あるいはこちらの事情でそこが増えたのかというのを、ちょっと教えてください。それで、それが分かれば、何か、今後の見通しとしてどうなのかなというのも、もし分かれば教えてください。以上です。

委員 長 子育て。

議 長 そうですね、出産・子育て辺りから、はい。

委員 長 まず、出産関係、子育て関係の話から。どうぞ。

子育て健康課長 私のほうからは、議長の御質問にありました出産関係ですね。あと、産後ケア関係の御回答をさせていただきたいと思います。

まず、出産関係なんですけれども、町のほうに相談があれば、特定の出産場所に限らず、ここら辺で近いところを御案内させていただいているところがあります。最近ちょっと新しくできましたアクアベルさん、そちらのほうも最近はお利用のほうが多くなっているという話はお聞きしております。

それと、あと、産後ケアの関係なんですけど、今、ちょっと手元に、その場所

等の資料がないものであれなんですが、実績としましては6年度は宿泊型が3名の実績がありました。それからデイサービスですね、こちらのほうが8名の実績がありました。家事等のサービスが1名ですね。すみません、実績の答えなんですが、産後ケアのほうは、令和6年度はこのような実績がございました。以上です。

環境上下水道課長 御質問の件、お答えいたします。電気自動車の購入補助金につきましては、先ほど、ちょっとお答え、少し補足しなければならないところがあったんですが、令和6年度の時点で24件の残りの補助の件数となっております。というのが、この、もともとの制度が3年間にわたって補助しますよという制度なので、最初、令和3年度は2件、令和4年度が16件、令和5年度が26件という形でトータルの合計数が増えていったところで、この5年度の26件を、全体としてこれは延べなんですけども、26件に到達した時点で、もともと当初の目的が災害時の非常用の電源ということで、災害時、何に困るというお話を確認した中では、やはり携帯電話のちょっとした充電ができないんだと、こういったところを何とかできるようにしなきゃいけないということで、EVから充電をすることで取り急ぎの当面の連絡手段の電源としては活用できるだろうということで、目指していたのが、もともと20件程度あれば避難所の数に応じて、それぞれ配置できるだろうということだったので、26件ということで当初の目的を達成したということで、補助金のほうのめどが立ったということで終了とさせていただいたものでございます。

ただ、もっともっと大きい話で言うと、再生可能エネルギー全体としては、やはり国もそうなんですけども、この松田町全体としても進めていかなければならないということで、昨年も区域施策編という温暖化対策の計画をつくらせていただいたんですが、こちらに準じた形で、今後も町としては進めていきたいなと考えておるところでございます。以上です。

生涯学習推進課長 スポーツツーリズムの関係でございます。登山、自転車、トレイルランというような具体的な種目をお出しいただきましたけども、まず、今までもあったようにハイカー、ハイキングですね、ハイキングにつきましては当然、これか

らもお客様が多い部分かと思えます。

そこでちょっと、似て非なるものとしてクアオルトというものが、ドイツのほうですかね、ちょっとかなり人口が多くて、ちょっと負荷をかけたウォーキングハイキングというような種目があるということで、こちらのほうも今回のスポーツフェスティバルのほうで、体験会というものをちょっと企画しようかなと思っております。

また、自転車につきましては、神奈川県としてサイクルツーリズムというものをしているものですから、ここも当然提携してやるんですが、なかなか、どうして松田町というのが、ほかに抜ける道がなかなかなくて、行くと帰ってこなきゃいけないというところの中で、また、西さがみのほうで見ますと、通り道にはなるんですが、なかなか停留所的なところに至らないというようなことで、神奈川県とも連携した中で、何かこっちに人を持ってくる手段をお願いしますよ、みたいな連携は取ってはいるんですが、そういったところの中でサイクルツーリズムにつきましても、これは当然、秦野峠林道の関係にもなるかと思うんですが、大きい話で行くと。そういったことの中で、当然見込みに入れているというようなところとなります。

このクアオルトとトレイルランというのが、似て非なるものですが、そういったことで健康志向ということで乗っかっていければなど、進めていければなど思っているところとなります。具体的な種目が今、出たものですから、そういったところで当然、今年度、スポーツフェスティバルとか、そういったところで周知を図りたいなど思っているところです。よろしく願いいたします。

環境上下水道課長

すみません、先ほどと別件で、アーバンスポーツの件をお伺いされていたと思います。アーバンスポーツという言葉、直接、出てはこないんですが、ページ149ページをお開きください。決算書の149ページの中段よりちょっと下辺りの、備考欄の17番、備品購入費203万7,750円があるんですが、こちらがクォーターランプと言われているアーバンスポーツ用のスタート台となっております。こちらについては財産台帳上も記載させていただいております、454ページ

のほうに、下から二つ目。すみません、ちょっとページが飛んじゃうんですけど454ページです。（「ああ、これですか。」の声あり）にも記載をさせていただいております。こちらが購入したアーバンスポーツ用の備品となっております…（「調整池。」の声あり）はい、調整池…（「ということは、町屋ですね。」の声あり）そうです、町屋に置く予定で組んでおります。

ただ、現在、雨が多いこととか、あと、やっぱり夏という時期の暑くて、あそこの日陰がまだないというようなこともありまして、今、その辺りの運用上のルールを少しクリアした上で、次の展開に持っていきたいと考えておるところでございます。以上です。

参事兼政策推進課長 初めに、基金、これだけあって、ということなんですけども、まず、近隣の状況も踏まえながら参考にですけども、財政調整基金につきましては、小田原市をはじめ湯河原町まで、やはりコロナ禍の中で様々な事業展開をし、そこに基金を繰り入れているというような中で、松田町が非常に高いという状況ではないというところにあります。1人当たりで換算すると、5町の中では2番目に高い状況になっております。

今後、この基金をこんなに持っていいのか、いろんなものに使ったらどうかというのがございます。本当はそういうふうにしたいんですけども、皆様方に当初予算のときに、財政推計を示してございます。その中で2048年度まで、令和30年度までの推計を周知している中で、今後、新松田駅をはじめ、南口、そして広域のごみ処理施設、広域消防、そして、まだ東部の関係の解体等々の事業も含みながら、また、さっきの利率につきましても、町としては有利な起債をするということで、交付税算入に何%入るといようなことも借り入れながら、交付税算入を含めて推進している中で、やっぱり利率は上がるという推計を今、出しております。

また来年度の予想をしながら、その財政推計に、例えば今、2%ぐらいしているものを、さらに上げていく可能性もあるので、そういう意向を見ながら、それで全体の財政を回す中の財政調整基金を繰り入れていくということを推計しておりますので、本当は毎年毎年、大きな事業を一般財でということではな

く、様々な補助金、また交付税算入を含めながら財政を運営していきたいというふうに考えているところでございます。

それと地方交付税につきましては、決算のときに、474ページですね、決算書474ページの地域振興費がございまして、地域振興費と人口減少等特別対策事業費、そして臨時経済対策費、これは令和5年度も引き続いて行っているものでございます。ただ、係数等を含みまして、ここが5年度と比べて上昇しているというような形です。

その下の給与改定、これは昨年なかった、5年度なかったですね。これが新たに3,600というものが含まれてますので、こういう部分を含めて国のほうの事業展開で、交付税算入されていると。この現象が続くかと、続いてもらうために町も、引き続き要望活動等を含めながら進めていきたいというふうに進めております。以上です。

議

長 よく分かりました。出産子育ての件に関しましては、新しくできた秦野のアクアベルさんなんかが増えてきているということで、非常に寄からも近くて安心なところだと私も見に行きまして、こういうものがないといわれている中で、本当に若い方が移住してくる中でも安心ができるんだよというところを、本当にアピールして行ってほしいなと思います。そして、こういった町も、町も、こうやって手当をしているんだよという、移住フェアなんかに行くと、本当にこれから出産をしそうな世代の方にもアピールできる要素じゃないかと思うので、ぜひ、押してほしいところかなと思います。よろしくお願ひします。

再エネの件は、自動車の件、よく分かりました。あ、そういう事情でということ、目的が達成したからということ、それはよく分かりました。ただ、ちょうど去年辺り、日産のサクラなんかが出てきたりして、これから各社も軽でもEVにやっていくんだというようなニュースも見ましたが、また、町としては何かしら、そういう再エネが少しでも伸びていくような工夫が必要なのかな、なんて思いますが、ぜひ、よろしくお願ひいたします。

スポーツツーリズムもいろいろな多様なスポーツ、しかも、もともとこの地

域でやられているような登山とか、そういうのに比べて、に加えて、クアモルトじゃなくて何だっけ…（「クアオルト。」の声あり）クアオルト、そういうものにもトライしていくんだという、非常にそれも新しい、アピールできる面ではないかと思しますので、いいのではないかと。

自転車に関して抜け道がないというのは、確かに、うーんと思いましたがけれども、何かね、この松田だけで考えるとそうなのかもしれないけれども、足柄を周遊とかね、何かそういう、ちょっと広域で連携するような工夫も必要なのかな、なんて思しますので、ぜひ、よろしくをお願いします。

財調のことは分かりました。本当に、決して13億だけ見ると、おお、と思うけれども、そんな安心できるようなことではなくて、これを上手に生かしていくというようなことで財政推計を考えられているということで、よく分かりましたので。はい、ありがとうございます。これでいいと思います。

委 員 長 それでは、ほかに。議長が最後の質問者ということですので。

それでは、これで総括を含めた質疑を打ち切りたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声多数）

異議なしと認めます。質疑を打ち切ります。

職員の方につきましては、長時間にわたりまして質疑に応答していただき、ありがとうございました。これもちまして質疑を終了といたします。職員の方は退席してください。長時間にわたり、ありがとうございました。

（ 職 員 退 室 ）